

# 令和元年度 第1回健康寿命日本一おおいた創造会議

(令和元年8月21日開催)

## 大分県優秀健康経営事業所表彰式(以下の5社代表に知事から授与)

オムロン太陽株式会社(別府市/製造業)、社会福祉法人熊崎福祉会(臼杵市/医療・福祉業)、株式会社ジャパンセミコンダクター大分事業所(大分市/製造業)、オイレス工業株式会社(中津市/製造業)、大分県信用組合(大分市/金融業・保険業)

## 【議事(1)】大分県の健康経営の取組

平成26年度の健康経営事業所登録制度の開始以降から、事業所における健康経営実践のための県の支援経過について紹介  
認定のための5つの要件の達成状況の報告など (令和元年8月現在:登録1,481事業所・認定372事業所)

## 【議事(2)】健康経営の推進に向けた各団体の取組

(大分県商工会議所連合会)商工会議所会員事業所と協会けんぽ大分支部加入者の健康増進を図ることを目的に、令和元年5月17日、健康経営の普及促進及び健康づくりに向けた協力の連携に関する協定を締結。本協定は県内の10商工会議所で初の締結。

(大分労働局)働き方改革の一環として「おおいた夏の働き方応援キャンペーン」について紹介。

(大塚製薬株式会社・株式会社大分銀行)おうえん企業同士のコラボレーションとして①女性性特有の健康問題解決のための「いつまでも輝くためのウィメンズセミナー」、②ストレス改善、睡眠知識の向上を目的とした「働く人の快眠セミナー」を共催で実施した。

(日本青年会議所九州地区大分ブロック協議会)中小企業の生産性をどのようにしたら高められるのか、という視点で健康経営の推進、支援に取組み始めた。現在の健康経営認定事業所2社を、来年度には20事業所認定へ目標にしたい。

(健康経営推進員 津久見商工会議所)平成30年度健康経営推進員の養成研修に参加。その後、管轄保健所の担当保健師と事業所に同伴訪問を実施。企業の事業承継のための伴走支援の1つのアプローチとして、健康経営を同時に進めている。

### ※意見交換※

(大分看護科学大学長)新しいステージの健康経営の取組がでてきたという印象。個々の企業を刺激する媒体として商工会議所や青年会議所が一緒に取組むというのは、裾野を広げる意味での新しい取組だと感じる。

(商工会連合会会長)小規模事業者の発展、経営改善をしながら地域の活性化を求められる中、県内17商工会各支所の経営指導員が今年度の健康経営推進員研修に出席できるよう促したい。

## 【議事(3)】みんなで伸ばそう健康寿命推進月間の取組

### (健康づくり支援課)

「みんなで伸ばそう健康寿命推進月間」9月～11月の3カ月間、昨年度は575イベントが企画、実施され、延べ15万人の県民(県民の8人に1人以上)が参加。今年度は昨年度を上回る16万人を目標としている。9月16日キックオフイベントとして「健康寿命日本一おおいた推進フォーラム」を開催予定。「健康寿命を延ばすカギは“おいしい食事”ができる社会づくり」と題し、食生態学の第一人者である女子栄養大学の武見ゆかり教授の特別講演を予定。フォーラムでは、おうえん企業のブースを18用意。おおいた歩得の新機能「おおいた図鑑」「温泉巡りスタンプラリー」紹介し、参加協力を依頼した。

### (全国健康保険協会大分支部)

大分県社会保険協会と連携した健康づくりイベントを開催している。大分トリニータのホームゲームでは、骨密度の測定と乳がん触診体験の健康支援ブースを出展した。20～40代をターゲットに、ニータンを掲載したジェネリックの医薬品希望シールを配布した。

(株式会社大分フットボールクラブ)「市陸ロード」と題し、大分市営陸上競技場で開催される大分トリニータの試合で、駅から会場まで歩いてもらうというイベントを企画。企画から大分県交通安全協会、おおいた歩得などとコラボレーションしている。